

翠風園 ひかり通信

Vol. 1 創刊号



- 発行月：平成18年11月
- 制作・発行：社会福祉法人 正瑛会
理事長 野水 清志
- 所在地：〒950-1236
新潟市高井東2丁目13番33号
- 連絡先：025-362-7600



施設長 ご挨拶

施設長 宇都宮 秀子



社会福祉法人正瑛会の発足から四年の月日が経ち、デイサービスセンター翠風園から始まった「翠風園」という名の事業所も、ヘルパーステーション、グループホームと今では三つを数えるまでになりました。ようやくここに広報誌を発行できます事も地域の皆様はじめ多くの方々のお陰様と、心から感謝申し上げます。

「翠風園」という名前の由来は、青々とした水田の上を吹き渡る爽やかな風の意味です。この白根の地で今の時代を築いて下さった高齢者の方々が、翠風園をご利用いただく事によって、水面を渡る爽やかな風に、心や体の痛みを解きほぐされ、青田の稲がやがて豊かな稲穂に育つがごとく、心豊かにお過ごしただけのようにとの願いが込められています。

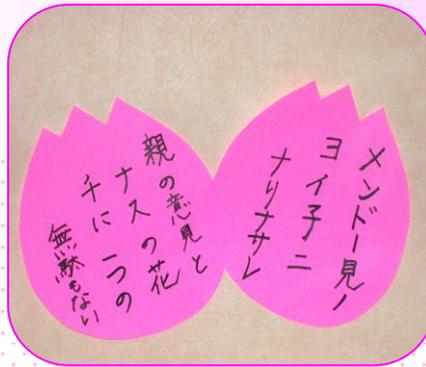
また、当法人の理念は「報恩・感謝・奉仕」と掲げられておりますが、私自身、月日を追う毎にこの理念の奥深さに魅入られております。自分が考え、理解し、実行しただけ、この言葉の意味は広がりを持ち、奥行きを持ち、多くのものと自分を結びつけてくれる、尊いものであると感じております。

いつの間にか当たり前の事として顧みる事もしなくなった大自然の恩恵、そして先人の恩恵に、改めて深い感謝の想いを向け、職員共々、白根の大地にしっかりと足をつけて、多くの方々に学ばせて戴きながら、これからも進んで参ります。その日々の歩みをこの広報誌に載せて、季節毎に皆様にお伝えしてまいりたいと思います。どうぞ今後とも、多くのご指導を賜りますようお願い申し上げます。

デイサービス



《お言葉のご披露》



戴いたお言葉で桃の花が咲きました！

ひな祭り会の華やかな風景です。



春 便 り

★ 翠風園のシンボルマークである桜が咲き誇る春には、白根カルチャーセンターへお花見に、白根グレイプガードンヘイチゴ狩りに出掛けました。とても居心地の良い天候の中、自然の恵みをみんなで感謝しながら楽しく過ごしました。「白根にはこんな良い所もあったんだね。」と喜びの声が聞こえる等、利用者様に喜んで頂きました。

★ 三月にはひな祭り会が行われ、華やかなひな人形を飾り、利用者の皆様から子・孫をはじめ後世に捧げるお言葉が述べられました。職員に温かいお言葉を下さったり、また感極まって涙を流しながら述べられるお姿に、職員もおのずと涙を浮かべるとても感動的な行事となりました。

行 事

デイサービスセンターでは一年を通し、四季折々の行事を行っております。季節の過ごしやすい春・秋は外出をして清々しい空気の中、郷土白根の自然と触れ合ったり、また、園内では季節に順じた様々なお祭を翠風園独自の感謝祭としておこない、



納涼祭では職員でよさこいソーラン節と凧音頭を踊りました。



《お言葉のご披露》



七夕祭で短冊を読み上げているらっしゃる場面です。



夏 便 り

★ 初夏の六月には日本を代表する白根の大凧合戦を観戦しました。利用者様は風の向きを気にされたり、「〇〇組は昔から強いんだ。」など職員に様々と教えて下さいました。凧合戦は白根の素晴らしい文化ですね。

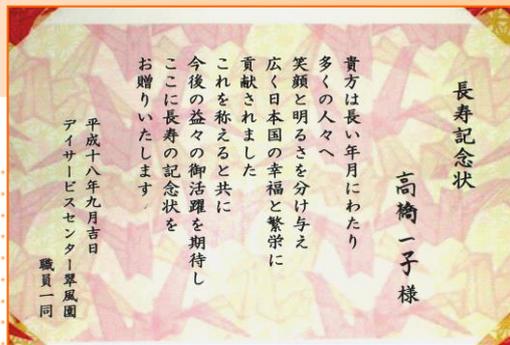
★ 七夕祭は、彦星織姫の伝説を元に、ご縁に対しての感謝を短冊に書き、お一人お一人述べられました。普段口には出さない御家族への感謝の想いを読み上げて下さり、お聞きしているみんなが感激して拍手が湧き上がりました。

★ 八月には穀物を豊かに育てて下さる夏の暑さに感謝し、盛大な納涼祭を行いました。職員はよさこいソーラン節を踊り、夏祭りに華を添えました。

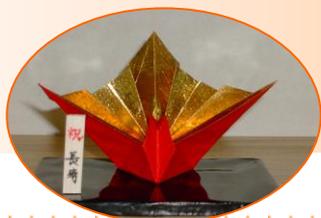


年間

利用者様と職員みんなで楽しく心に残る有意義な行事をおこなっております。
このページでは今までデイサービスで行われた行事の一部をご紹介します。
利用者様・職員の心触れ合う姿をお伝えします。



敬老会で手作りの記念状を利用者様にお送りしました。



記念品も手作りでず。



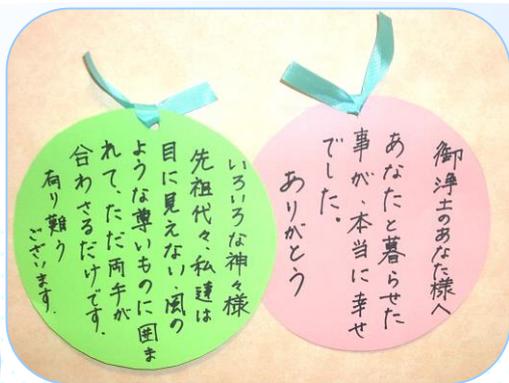
職員より、利用者様に箏の連弾をご披露いたしました。



秋
便
り

★秋の季節には、利用者様を初め先人の方々への感謝と敬意を払い敬老会を開き、利用者の皆様に長寿記念状をお送りして職員みんなで祝いしました。また、職員より益々の御長寿を祈念して箏の演奏やお茶を点でて、日本の伝統文化をご披露しました。利用者様は箏の音色に合わせ歌われ、とても喜んで下さいました。

★九月はグレイプガーデンへブドウ狩りに行き、見事なブドウの木々に驚きの声が湧き上がりました。実の味も抜群で大変満足されていらつしやいました。来年も是非行きたいと思います。
★十月には普段使っている体へ感謝の想いを込めて大運動会も行われます。大玉送りなどの競技に皆さん眼を光らせて参加されました。



節分祭の繭玉（まゆだま）です。
ご利用者様の感謝の想いが
短いお言葉の中に満ち溢れています。



冬
便
り

★年末は翠風園では珍しい洋風のクリスマス会が行われます。職員によるハンドベルの演奏と合唱、手作りのクリスマスプレゼントが利用者様に一年の感謝を込めて贈られました。

★お正月は新年を寿ぎ、全員で盃を片手に声を高々に祝杯をあげました。「皆様、あけましておめでとうございませう。今年も宜しく願います。」
また、お正月にとっても相応しい箏の音色が職員より奏でられました。

★二月の節分には節分祭が行われました。節分は旧暦でいう大晦日にあたります。今年一年を無事に過ごせた感謝の想いや、今まで恩恵を頂いてきた先人の皆様への感謝の想いを繭玉に書いて園内に華やかに飾りました。報恩・感謝のお言葉で満ちた園内となりました。



グループホーム

ご近所の公園で・・・
可愛い子供さんとの
すてきな一コマです!

グループホームの一日は小鳥のさえずりと共に始まります。『トントントン』とまな板の上の野菜を切る音やおみそ汁の香りに誘われるように入居者の皆様は思い思い自然に目覚められます。

いつも早起きのS様はきちんと身支度を整えられ台所に立っているスタッフに『何かお手伝いすることなく』と声をかけて下さいます。早起きの苦手なE様も眠い目をこすりながら起きて来られ『私にもできる事がありませんか？』と。『何でもやらせて下さい』とおっしゃいます。

私達スタッフは入居者の皆様のお気持ちがとてもありがたいと、涙がでるほど嬉しく思っています。

さわやかな朝の空気に包まれての食事は、皆様の笑顔と楽しい会話が何よりのごちそうです。

* * 実り豊かな翠風園の畑 * *



* * 畑の先生登場 * *

今年も豊作
です！



* * 畑でとれた野菜たち * * * * 腕前はさすがベテラン * *

とても新鮮
です！！



早速、調理し
て食卓に並
べます！



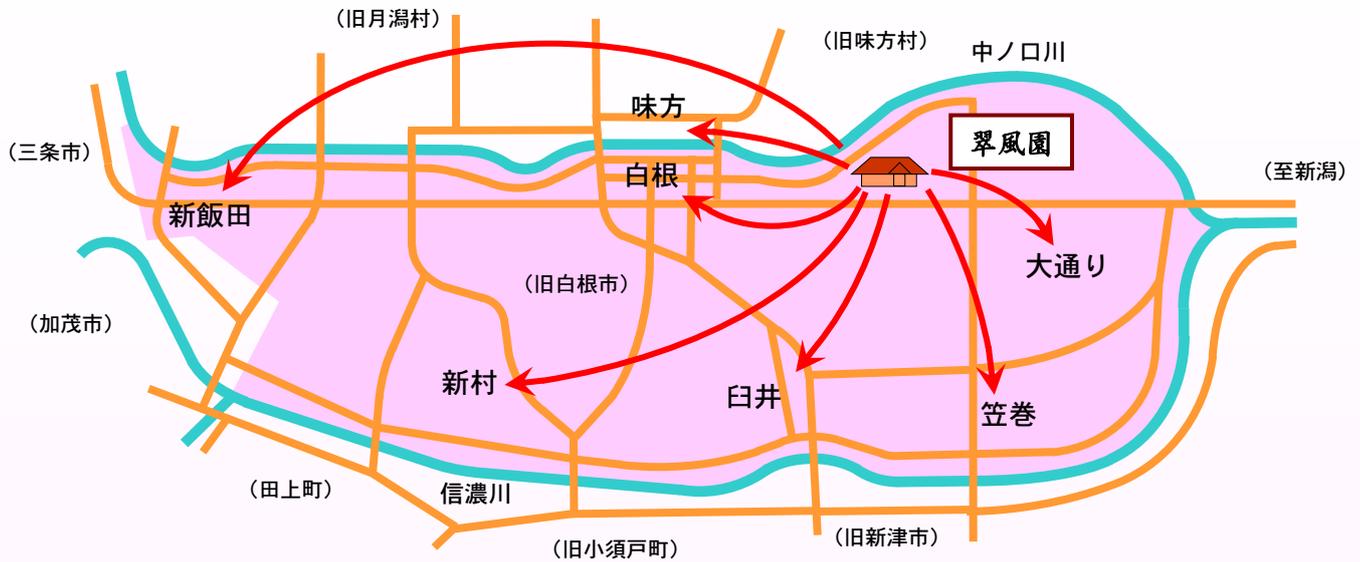
現在グループホームには、十八人の入居者の方が共同生活を送っていらっしゃいます。思えば当初グループホームに入られたばかりの頃は、ご家族と離れ環境が変わった為に寂しさと孤独感に落ち入れ、帰宅願望や不眠といった状況が続きます。しかし今では日々穏やかに安心して過ごされています。それはスタッフの心配りに加え、やはり常々何かと関わって下さるご家族の協力の賜物とっております。

グループホームは高齢者の方々の共同生活です。入居者の皆様は、それぞれお互いを認め合い支え合って生活されています。私達スタッフもここで仕事ができるのも、入居者の皆様とそのご家族の支えがあつての事と感謝しております。

いつもニコニコ笑顔の素敵なお母様は、いつでも折にふれ『ありがとう。ありがとう』と手を合わせて下さいます。そんなお姿に私達の方が頭が下がる思いで手を合わせてしまいます。

さあ、皆様朝食も終わりました。今日も良い天気！洗濯を済ませたらどこかへお出かけしましょう！！

ヘルパーステーション 翠風園



デイサービスセンター翠風園が開設され、その三ヶ月後にヘルパーステーションが発足致しました。開設当初は一人だった利用者様も除々に増え、職員も九名に増えました。今では、上の図のように大野町に近い大通りから三条付近の茨曾根まで、端から端まで訪問させて頂いております。訪問介護員として最も大切な事は、利用者様や御家族から信頼していただけることです。おうちの中に入れていただき、私達の出来ることを精一杯させて頂くわけですが、そこに信頼がなければサービスは成り立ちません。一人一人が皆様の信頼に足る人間となれるよう、研鑽を続ける毎日です。

毎週ミーティングで集まり、嬉しかった事や、困った事、又その解決方法、この方にはどのようなすれば本当に助けになれるだろうか、真剣に賑やかに話し合っています。

そして私達がいつも心掛けていることは、訪問する時の自分の心です。自分が発する思いは、良いにつけ悪いにつけ、相手に必ず伝わります。

私達はヘルパーステーション翠風園にご縁があったお蔭で、ヘルパーとしてのお仕事をさせて頂く事が出来、又利用者様にご縁があったお蔭で自分の力を発揮させて頂く事が出来ます。

このご縁に感謝して、「私達は皆様が大好きです。今日も私達に出来る精一杯の事をさせて頂きます！」いつもこの想いを胸いっぱい秘めて、訪問させて頂こうと話しかっております。

手助けを必要とされる方、どうぞご一報を！
お待ちしております。



心に残った出来事

このページでは、利用者様と共に過ごされて戴く日々の中で、私達が「心に残った出来事」を、紹介させて頂きたいと思っております。

今年の九月、デイサービスで「敬老会」を行わせて戴きました。利用者の方々の皆様のご長寿をお祝いさせて頂くと共に、職員が利用者様への御礼の言葉を述べさせて頂きました。

まだ入社して間もない押味さんが、緊張のあまりに声を震わせながら話して下さった内容も素晴らしく、また、利用者の方々がまるで「我が子」を見守るようにして、時折目頭を押さえて、お話を聴きになっている光景が、今でも忘れられません。

(私達職員は、翠風園においてこのような感動的な場面に出会えることに感謝し、これからも紙面を通じて、皆様にもお伝えして参りたいと思っております)



幼少より手習いされたという「お箏」も演奏して下さいました。笑顔が輝いています！

感謝の言葉

(敬老会にて)

押味 千代子

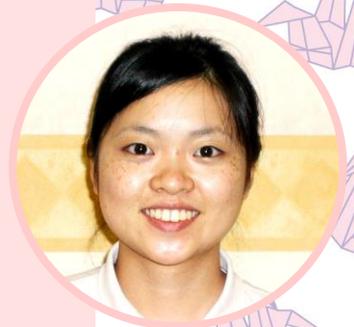
私は、新津に生まれましたが、一歳の時に新潟へ引越し、それ以来ずっと新潟で生活しています。この白根には、翠風園で働かせて戴くまで、ほとんどこの地域に来た事がありませんでした。

私が初めて翠風園に参りました折、素晴らしい風景に感動し、心が洗われる思いがしました。今でもその想いは変わらず、車で通るたびに自然の素晴らしさを感じます。どこまでも続く田んぼ、雲がかかる山、ずっと見ていたいという気持ちになるのです。

私はずっと新潟で育った為に、田んぼや畑が周りに全くない環境が当たり前で、街での生活が一番だと思っていました。スーパーに行けば一年中、綺麗に包装されて形の揃った野菜が並んでいます。野菜の花の色を知らずとも、どんな風に育ったのか知らずとも、美味しく実った野菜を食べる事が出来ます。白根のこの大地で働き始めてから、そんな生活は本来の姿ではないのだと思いました。白根の大地を愛し、日々自然と共に生き、生活をされている皆さんの話をお聴きすると、人が生活する本来の姿はこの生活なんだと思いました。

そして、「田んぼに入る時は、ヒルに食べられない様に、股引を縄で結び、裸足で入った」というお話や、「戦争中は、女は田んぼを守り百姓した」というお話をお聴きし、皆さんがいらっしゃらなければ今の白根は無かったのだと思います。本当に有難うございます。

これからは、私も皆様の様に白根を愛し、守っていきたいと思います。私が出来て皆様の恩返しは、この翠風園で働かせて戴くことだと思っています。これからも宜しくお願い致します。



職員紹介

＊ ＊ ファイトあふれる好青年 ＊ ＊

こんにちは。9月よりデイサービスセンターで働かせていただいています。これまでは、グループホームに勤務しておりましたが、グループホームでの経験と今デイサービスで先輩方から習っている事を元に、利用して下さっている皆様へ元気と明るい笑顔を提供し、楽しく心地よく過ごしていただけるように頑張っています！

デイ
サービス
白井直樹



＊ ＊ 頭脳明晰なお姉さん ＊ ＊

ヘルパーステーションで働かせていただいて4年になります。利用者様の『世界』に踏み込ませて頂く訪問介護は名目上の援助以外に利用者様が何を望まれ何を考えておられるのか細やかに配慮する必要があります。まだまだ未熟なので日々勉強させて戴き利用者様の心に届く援助を目指して行きたいと思います。

ヘルパース
テーション
斎藤文子



＊ ＊ 太陽のような明るい栄養士さん ＊ ＊

デイサービスセンターでは、旬の食材を多く取り入れた栄養バランスの良い献立により、昼食、三時のおやつとも全て調理師さんの手作りによる心のこもった料理を提供させて戴いております。また、その月の行事に合わせて、敬老会では松花堂弁当、お月見では月見そばにうさぎまんじゅうなど楽しい食事を心がけております。

栄養士
押味美代子



＊ ＊ みんな頼りにする看護師さん ＊ ＊

寒くなりました。この季節になると風邪やインフルエンザが流行ります。かからない様にするには、身体の自然治療力が治療法の一つです。自然治療力を高めるには、過労を避け、十分な睡眠とバランスの良い食事摂取が重要です。普段から正しい食生活、適度の有酸素運動を習慣づけ、体力強化をはかり、元気に過ごして参りましょう！

看護師
赤木公子



【 編集後記 】

この度、「翠風園 ひかり通信」創刊号を発行させて頂くこととなりました。この広報誌は、企画から発行に至るまで、私達職員で制作させて頂きました。初めての制作作業に携わらせて戴く中で、パソコンを勉強したり、また意見を交わしあいながら構想に悩み続けた日々もありました。

そして、何度となく諸先輩方からご助言を戴いて修正を繰り返す事により、いつしかメンバーの心も一つになっていきました。日が経つにつれて、この広報誌がまるで我が子の様に思え、とても愛しく感じております。広報誌と共に私達自身も成長して参りたいと思いますので、宜しくお願い申し上げます。